ENOMOTO Co.,Ltd.

第40期　中間決算説明資料

自　平成17年4月　1日
至　平成17年9月30日

ENOMOTO Co.,Ltd.

JASDAQ

【会社名】　株式会社エノモト

【英訳名】　ENOMOTO Co.,Ltd.

【コード番号】　6928

【URL】　http://www.enomoto.co.jp/

【代表者】　代表取締役社長　榎本　保雄

【問合せ先】　取締役経理部長　山﨑　宏行

【E-Mail】　ir@enomoto.co.jp

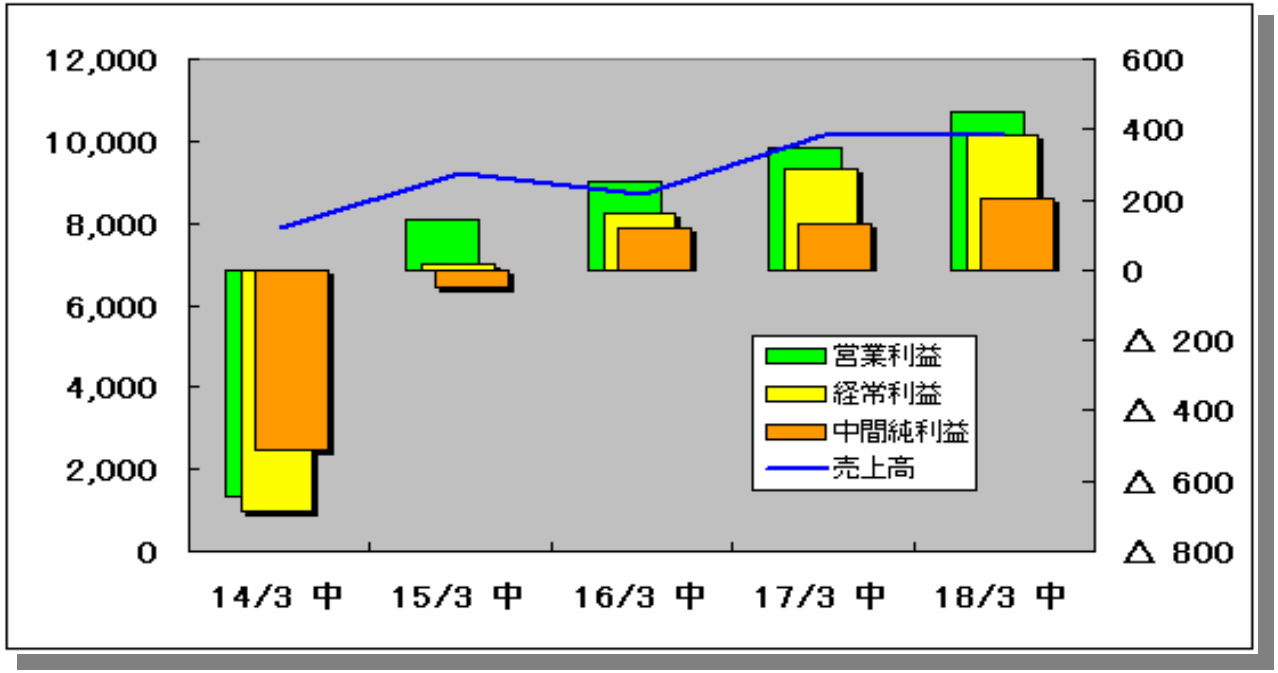
【本社所在地】　山梨県上野原市上野原 8154－19

【電話番号】　0554（62）5111（代表）

当中間期のご報告

■連結業績の推移

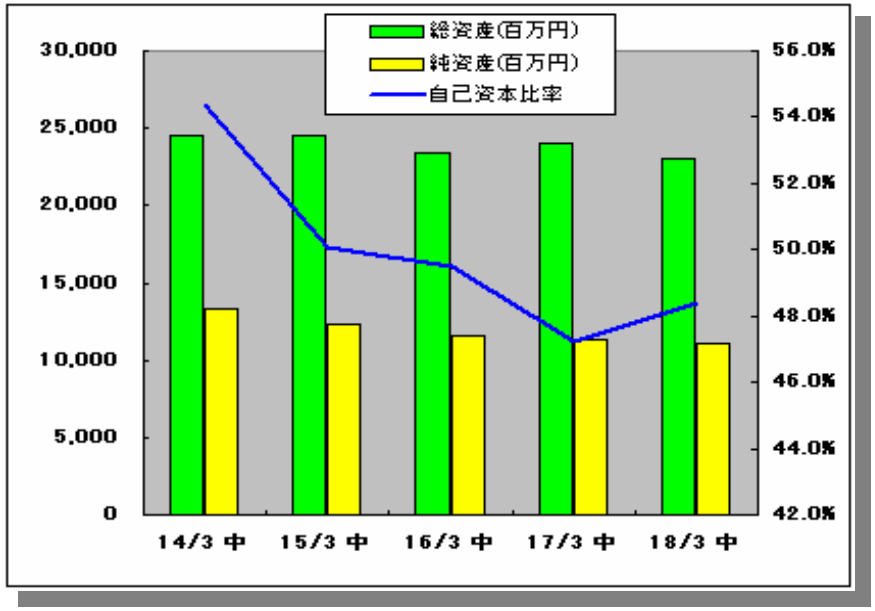
ENOMOTO Co.,Ltd.

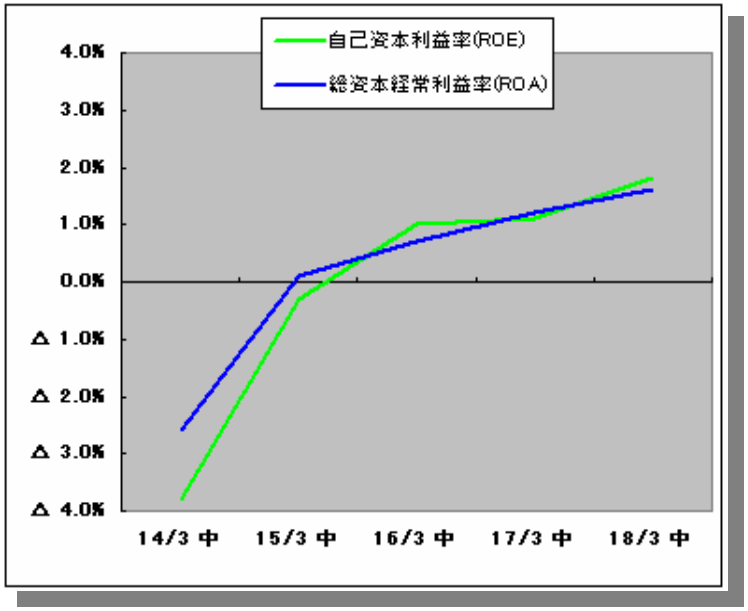


百万円

	16/3 中	17/3 中	18/3 中	前期比	16/3	17/3
売上高	8,713	10,122	10,167	0.4%増	17,821	20,176
営業利益	251	348	452	29.8%増	652	600
営業利益率	2.8%	3.4%	4.5%	1.0P増	3.6%	3.0%
経常利益	163	287	383	33.2%増	450	442
経常利益率	1.8%	2.8%	3.8%	0.9P増	2.5%	2.2%
中間（当期）純利益	117	133	206	55.2%増	255	182
中間（当期）純利益率	1.3%	1.3%	2.0%	0.7P増	1.4%	0.9%

■財政状態





	16/ 3 中	17/ 3 中	18/ 3 中	16/ 3	17/ 3
総資産（百万円）	23,384	24,067	22,991	23,875	22,340
純資産（百万円）	11,564	11,365	11,133	11,332	11,226
自己資本比率	49.5%	47.2%	48.4%	47.5%	50.3%
自己資本利益率（ROE）	1.0%	1.1%	1.8%	2.2%	1.6%
総資本経常利益率（ROA）	0.7%	1.2%	1.6%	1.9%	1.9%

■当期の概況

ENOMOTO Co.,Ltd.

当中間連結会計期間における世界経済は米国及び中国の好調な経済成長に支えられ堅調に推移いたしました。国内経済におきましては、企業収益の好転を背景に、民間設備投資の増加及び雇用環境の改善による個人消費の持ち直しがみられ、緩やかながら回復基調を示しているものの、原油価格や非鉄金属等の原材料価格の上昇高止まりが続き、不安定な状況で推移いたしました。

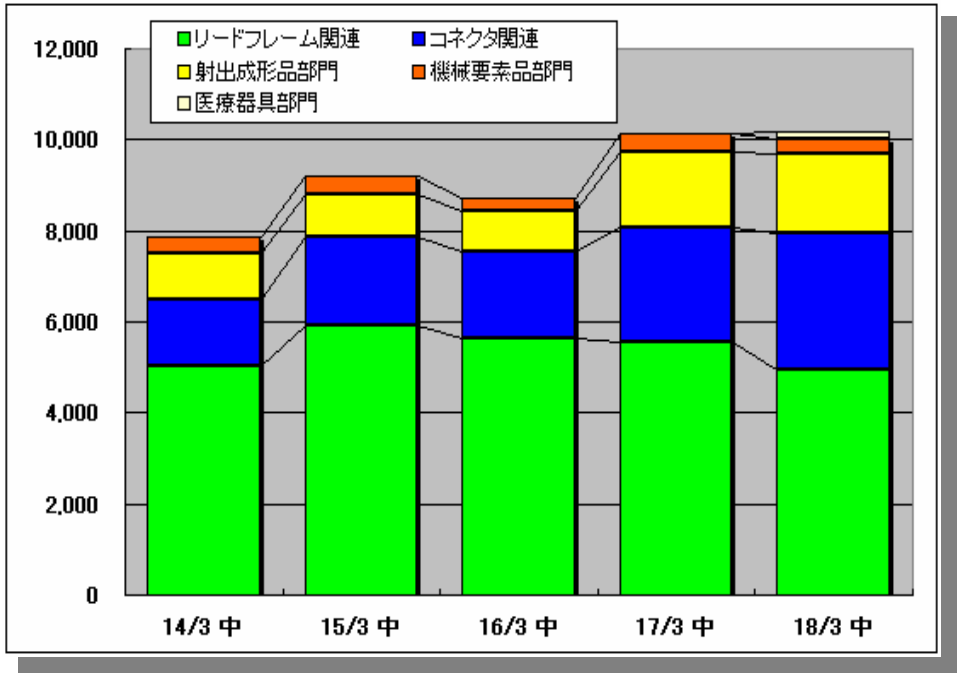
当社グループの属する電子部品業界におきましては、期初より踊場脱却の期待が高まる中で推移いたしましたが、なかなか本格的回復には至らず、第2四半期後半から徐々に回復の兆しを見せ始めました。携帯電話・デジタルカメラ・携帯型オーディオプレーヤー・液晶関連の製品需要を中心に回復が始まってきておりますが、市場ニーズの変化や競争が激しく、経営環境は厳しく予断を許されぬ状況であります。

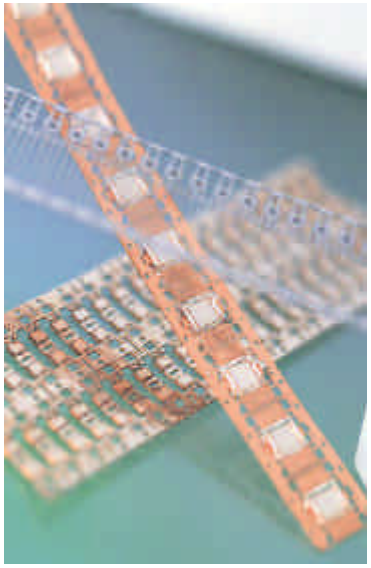
このような状況下、当社グループは、不採算品からの撤退と今後市場の拡大が予測されるLED用部品、コネクタ用部品への積極的展開を進め、開発スピードのアップと製造コストの低減に努めるとともに、新規分野といたしまして医療分野への取り組みを進めて参りました。

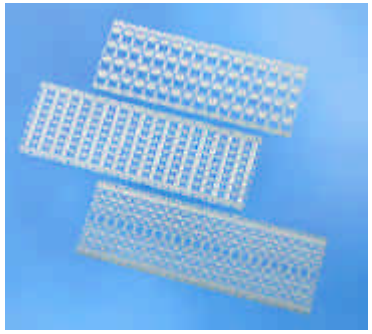
その結果、当中間連結会計期間の売上高は101億6千7百万円（前年同期比0.4%増）、経常利益3億8千3百万円（同33.2%増）、中間純利益2億6百万円（同55.2%増）となりました。

■部門別売上高

ENOMOTO Co.,Ltd.





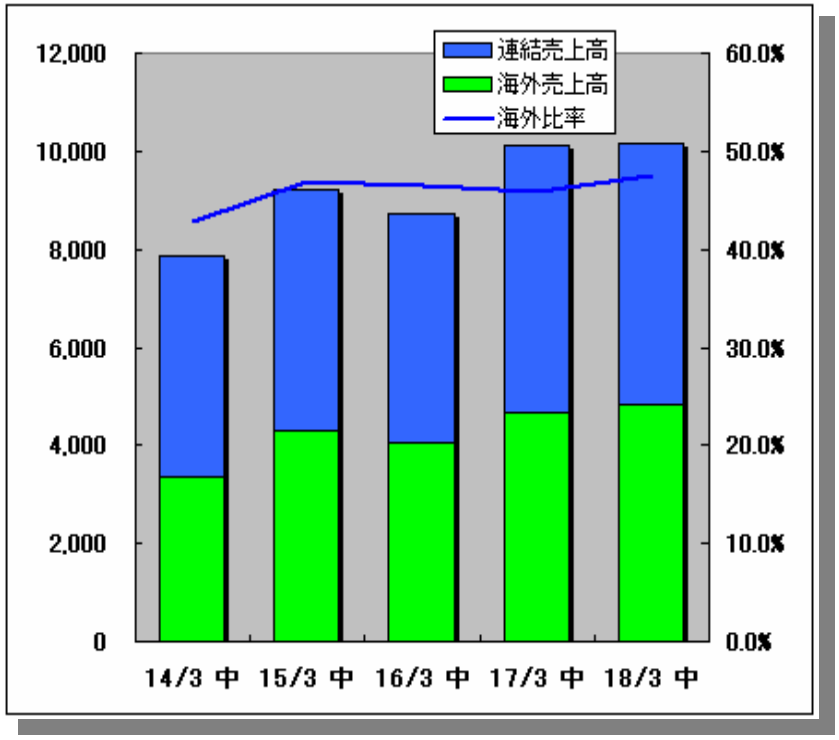


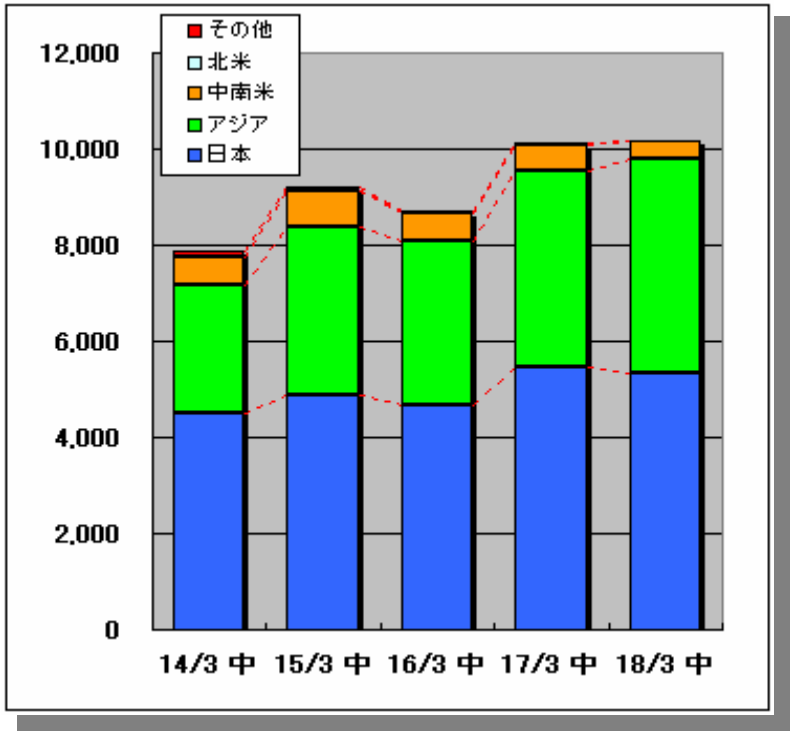
百万円

		16/ 3 中	17/ 3 中	18/ 3 中	前期比	16/ 3	17/ 3
金属プレス品部門	リードフレーム関連	5,651	5,558	4,942	11.3%減	10,752	11,029
	コネクタ関連	1,871	2,490	3,030	21.7%増	4,098	5,325
	計	7,522	8,048	7,960	1.1%減	14,850	16,354
射出成形品部門		920	1,688	1,747	3.5%増	2,361	3,120
機械要素品部門		270	385	299	22.4%減	609	700
医療器具部門		—	—	160	—	—	—
合計		8,713	10,122	10,167	0.4%増	17,821	20,176

■地域別売上高

ENOMOTO Co.,Ltd.





	16/3 中	17/3 中	18/3 中	16/ 3	17/ 3
連結売上高	8,713	10,122	10,167	17,821	20,176
海外売上高	4,057	4,653	4,841	7,900	9,868
海外比率	46.5%	45.9%	47.6%	44.3%	48.9%

百万円

	16/3 中	17/3 中	18/3 中	16/ 3	17/ 3
日本	4,656	5,469	5,326	9,921	10,307
アジア	3,417	4,054	4,475	6,591	8,687
中南米	604	576	347	1,196	1,128
北米	13	12	15	37	20
その他	21	9	3	74	32

① 金属プレス品部門

当部門は、半導体用リードフレーム及びコネクタ用部品が主なものであります。アジア地域における競争の激化により、販売価格の下落が進み不採算品目となりました一部のリードフレームからの撤退を進め、携帯電話・デジタルカメラ・携帯型オーディオプレーヤー向けのコネクタ用部品の拡販に注力いたしました。その結果、半導体用リードフレームの売上高は49億2千9百万円（前年同期比11.6%減）、コネクタ用部品の売上高は30億3千万円（同22.6%増）となり、合計で79億6千万円（同1.0%減）となりました。

② 射出成形品部門

当部門は、リレー用部品及びLED用部品が主なものであります。リレー用部品の需要は低調なままでの推移となりましたが、次世代の光源として注目されているLED用部品は、車載用については緩やかではありますが、安定的に増加傾向にあり、LCDや携帯電話向けの需要は受注状況に波はあるものの増加基調での推移となりました。その結果、売上高は17億4千7百万円（同3.5%増）となりました。

③ 機械要素品部門

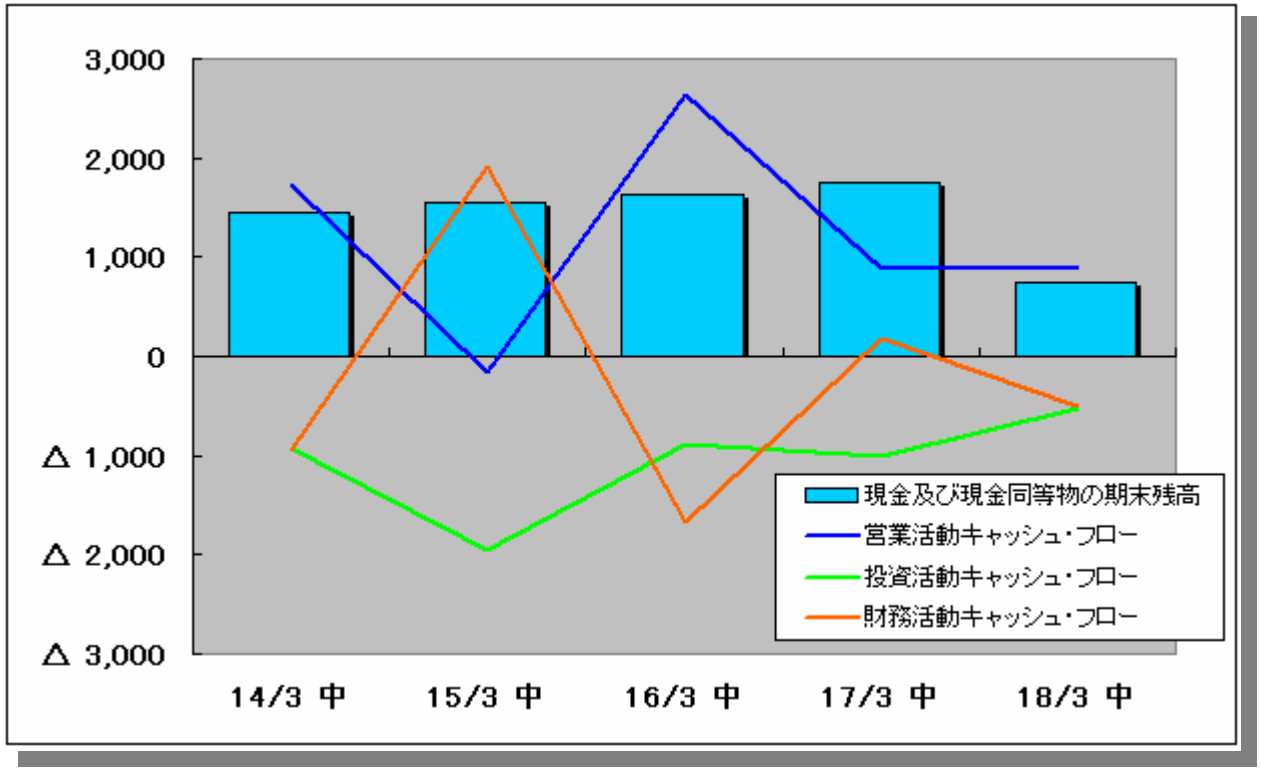
当部門は、当社の開発品であるガイドマックスが主なものであります。半導体製造装置向けの需要が減少した結果、売上高は2億9千9百万円（同22.4%減）となりました。

④ 医療器具部門

当部門は、当期より新たに加わった部門であります。当社と客先との共同開発品であります。この部門の売上高は1億6千万円となりました。

■キャッシュ・フロー

ENOMOTO Co.,Ltd.



百万円

	16/3 中	17/3 中	18/3 中	前期比	16/ 3	17/ 3
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,624	877	880	2	3,325	1,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△880	△1,009	△518	490	△1,705	△1,114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,680	187	△510	△698	△1,374	△899
現金及び現金同等物の期末残高	1,633	1,753	744	△1,008	1,720	872

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億2千8百万円減少し、当中間連結会計年度期間末には7億4千4百万円となりました。

○営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は8億8千万円（前年同期比0.3%増）となりました。これは税金等調整前中間純利益3億9百万円及び減価償却費8億2千2百万円等による資金の増加、売上債権の増加1億7千万円、たな卸資産の増加7千8百万円等の資金の減少によるものであります。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

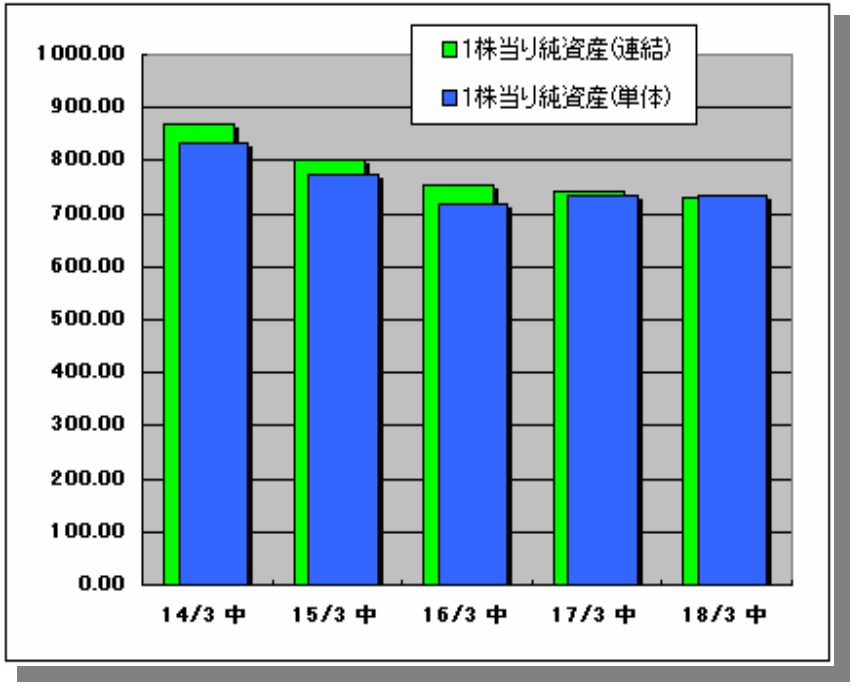
投資活動の結果使用した資金は5億1千万円（同48.6%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

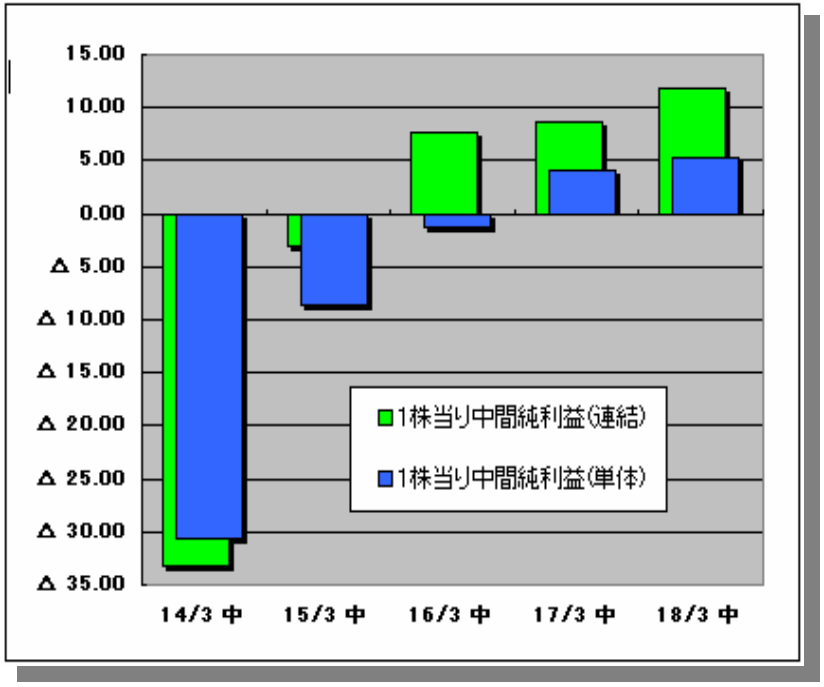
○財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は5億1千万円（前年同期は取得1億8千7百万円）となりました。これは主に短期借入金の純増加額2億4千5百万円、長期借入金の返済5億7千9百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1億1千5百万円及び配当金の支払6千1百万円によるものであります。

■ 1株当り指数

ENOMOTO Co.,Ltd.





円

	16/3 中	17/3 中	18/3 中	16/ 3	17/ 3
1株当り純資産 連結)	753.71	740.82	731.81	738.68	731.81
1株当り純資産 単体)	717.62	734.57	732.77	733.43	732.77
1株当り中間 当期)純利益 連結)	7.67	8.69	11.92	16.65	11.92
1株当り中間 当期)純利益 単体)	△1.20	4.05	5.20	13.54	5.20

○利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、電子部品業界における技術革新に対応するためタイムリーな製品開発に努め、国内はもとより海外生産拠点を拡充することにより、経営基盤の強化を図るとともに配当につきましても安定した配当の継続を重視し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、連結業績での配当性向を考慮いたしまして、中間配当金を期初予想の3円50銭から4円とさせていただきたく存じます。

次期の見通し

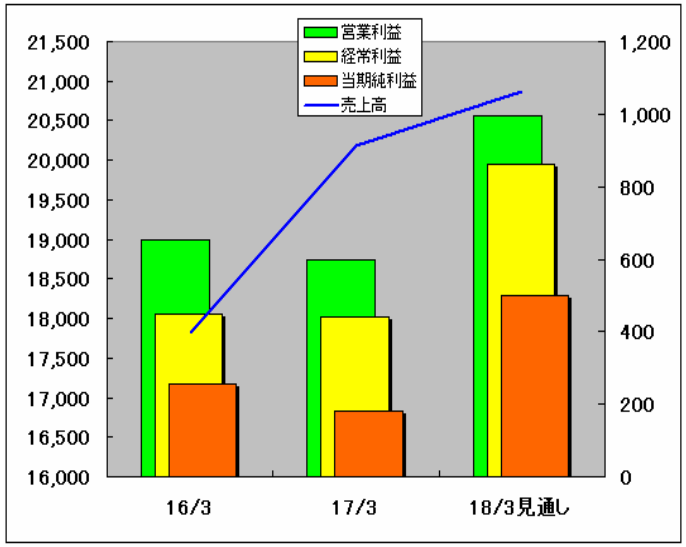
■通期業績予想

ENOMOTO Co.,Ltd.

●連　結

百万円

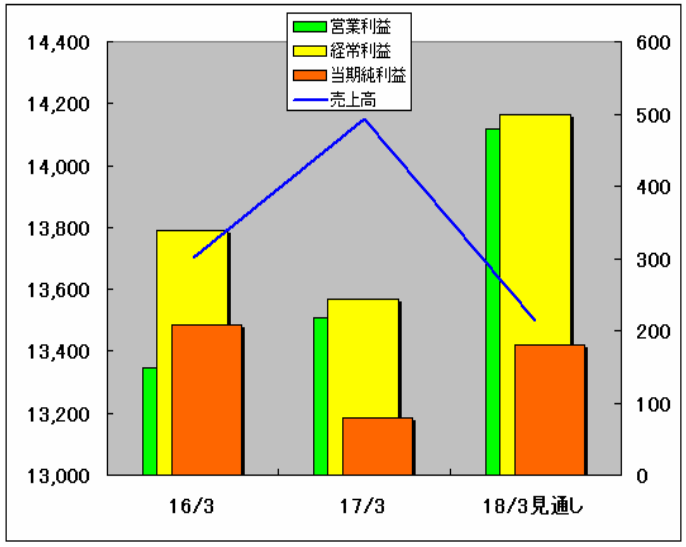
	17/ 3	18/ 3 見通し	前期比
売上高	20,176	20,870	3.4%増
営業利益	600	995	65.7%増
営業利益率	3.0%	4.7%	1.8P増
経常利益	442	860	94.6%増
経常利益率	2.2%	4.1%	1.9P増
当期純利益	182	500	173.4%増
当期純利益率	0.9%	2.4%	1.5P増



●単　体

百万円

	17/ 3	18/ 3 見通し	前期比
売上高	14,152	13,500	4.6%減
営業利益	218	480	120.1%増
営業利益率	1.5%	3.6%	2.0P増
経常利益	244	500	104.9%増
経常利益率	1.7%	3.7%	2.0P増
当期純利益	80	180	124.9%増
当期純利益率	0.6%	1.3%	0.8P増



今後の見通しにつきましては、国内におきましては、引き続き堅調な個人消費や民間設備投資に支えられ、景気回復への兆しが強まるとの見方があるものの、原油価格や非鉄金属等の原材料価格の高止まりによる企業収益への悪影響や、米国・中国経済の鈍化が懸念されるなど、不透明感も顕在化しております。

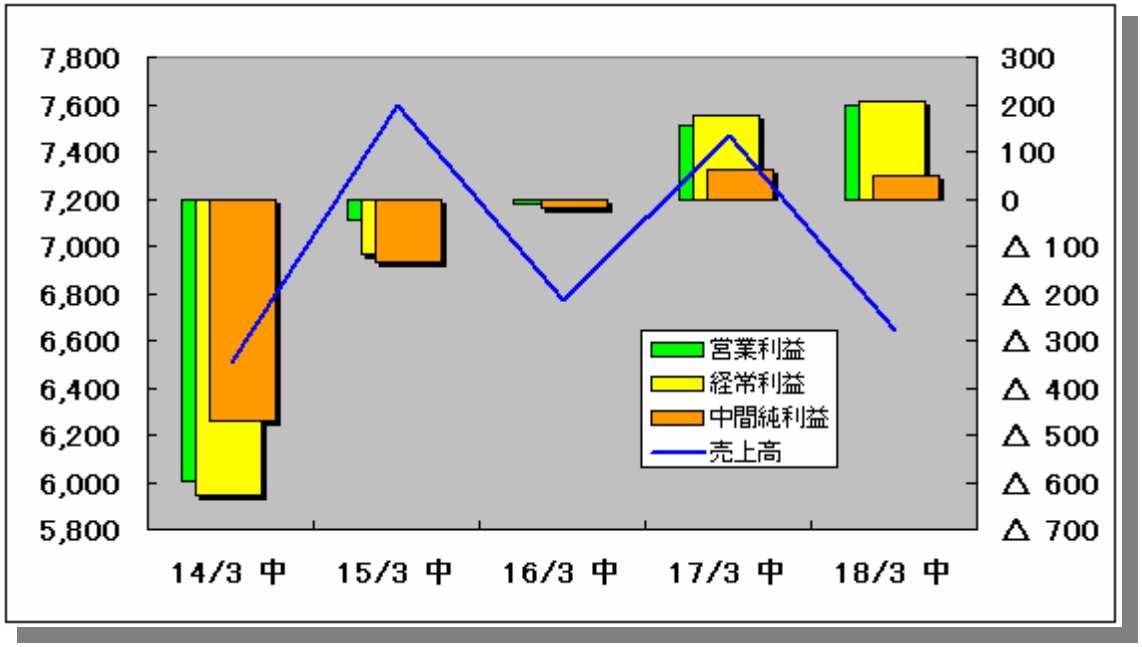
当社グループの属する電子部品業界におきましては、デジタル家電、携帯電話、液晶関連を中心に需要回復が期待される一方で、供給過剰懸念や更なる価格競争の激化により、楽観視できない状況が続くものと思われます。

このような環境下、当社グループは中長期的経営戦略の一環として、将来のユーザーニーズ及び地域的需要に対応すべく、最適地生産体制の構築を進め、市場競争力の強化に努めて参ります。国内におきましては、更なる技術力の向上、短納期化を図り、高付加価値製品への転換を進めるとともに、海外生産拠点におきましては、高品質化、低コスト化を推進し、収益の拡大に努めて参る所存であります。

先行きの景況感は不透明な状況でありますが、通期の連結業績予想といたしましては、売上高は208億7千万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は8億6千万円（同94.6%増）、当期純利益は5億円（同173.4%増）を見込んでおります。

補足資料

■単体の業績推移

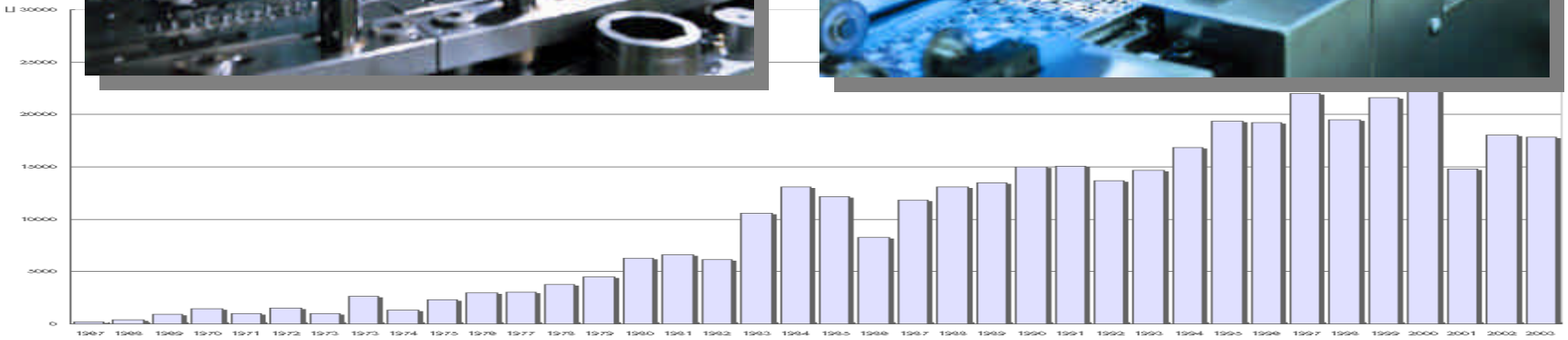


百万円

	16/3 中	17/3 中	18/3 中	前期比	16/ 3	17/ 3
売上高	6,772	7,467	6,644	11.0%減	13,701	14,152
営業利益	△12	154	198	28.9%増	148	218
営業利益率	△0.2%	2.1%	3.0%	0.9P増	1.1%	1.5%
経常利益	△4	177	205	15.6%増	339	244
経常利益率	△0.1%	2.4%	3.1%	0.7P増	2.5%	1.7%
中間（当期）純利益	△18	62	51	17.5%減	207	80
中間（当期）純利益率	△0.3%	0.8%	0.8%	0.0P減	1.5%	0.6%

ENOMOTO Co.,Ltd.

当社グループは市場と顧客の情報を迅速かつ的確に把握し、顧客ニーズに対し付加価値の高い製品や情報の提供に努め、相互に利益を享受することを通じて、信頼関係を深め、将来にわたり安定的な成長と収益基盤の確立を目指しております。



①グローバル供給体制の確立

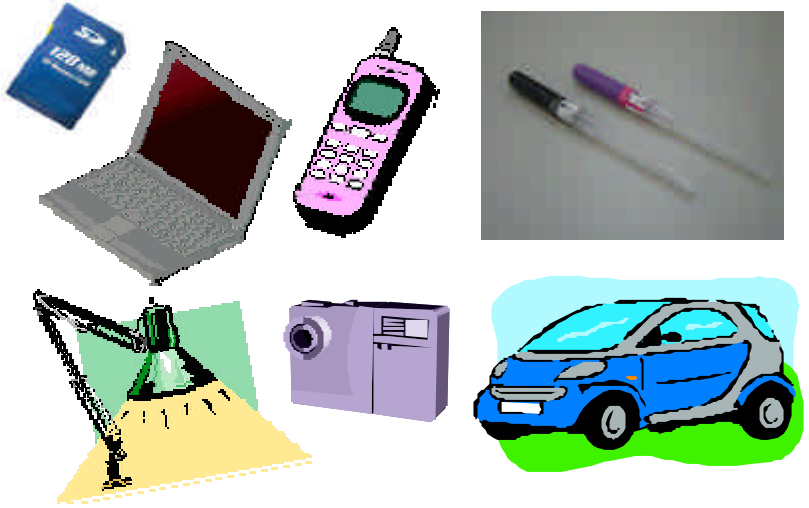
近年、電子部品業界は製品の適地生産・適地供給が強く求められており、そのニーズに対応するため、品質やサービスのレベルを向上させながら、調達・生産・販売の最適化を図るべく、グループ全体での分業・供給体制の強化を進めて参ります。

②事業基盤の確立

国際競争が激化に伴い製品価格の低下が続く中、当社は高付加価値品への転換を図るべく営業力、技術力の強化を図って参ります。

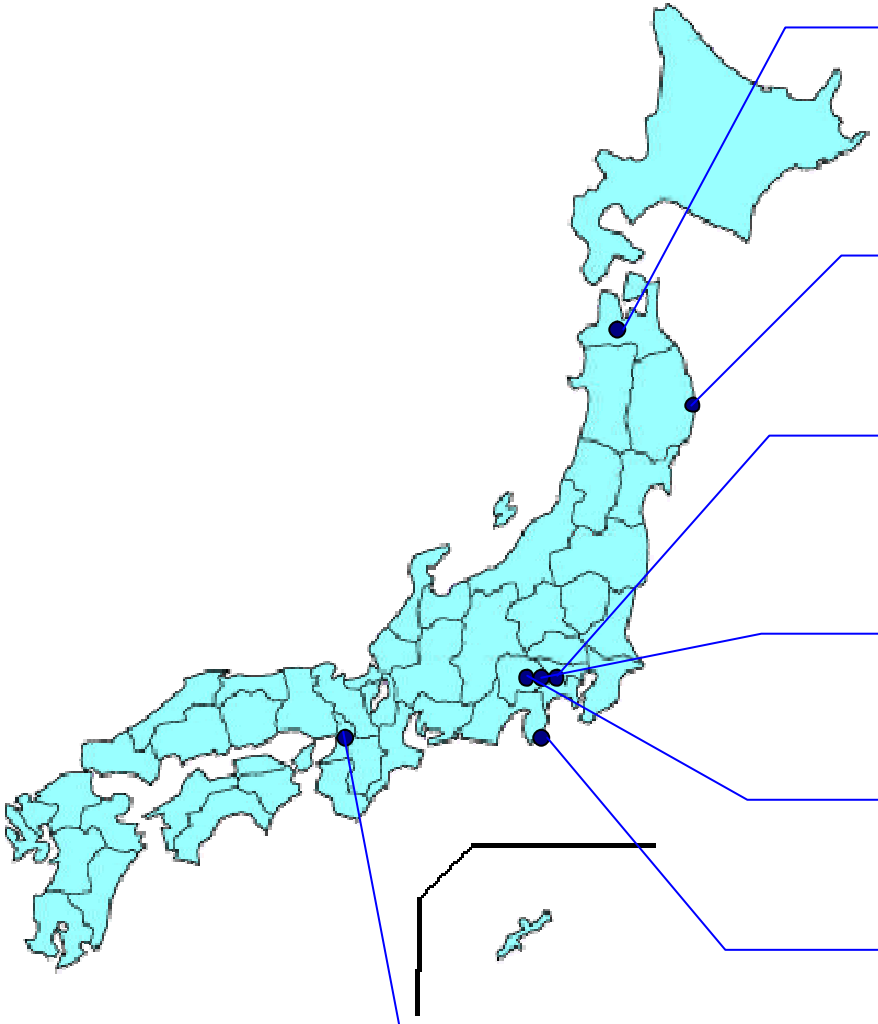
現在、培ってきた微細加工技術・インサートモールド技術を基に、次世代の光源として注目をあびているLED、電子機器の小型化に伴い需要の高まっている狭ピッチコネクタへの積極的展開を進めております。

また、新規分野として、医療関連製品への取り組みも進めており、今後拡大を図って参ります。



■国内拠点

ENOMOTO Co.,Ltd.



津軽工場
青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570　FAX.0173-34-5206

岩手工場
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511　FAX.0193-42-8513

藤野工場
神奈川県津久井郡藤野町佐野川2350
TEL.0426-87-5111　FAX.0426-87-4878

本社・上野原工場
山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111　FAX.0554-63-4193

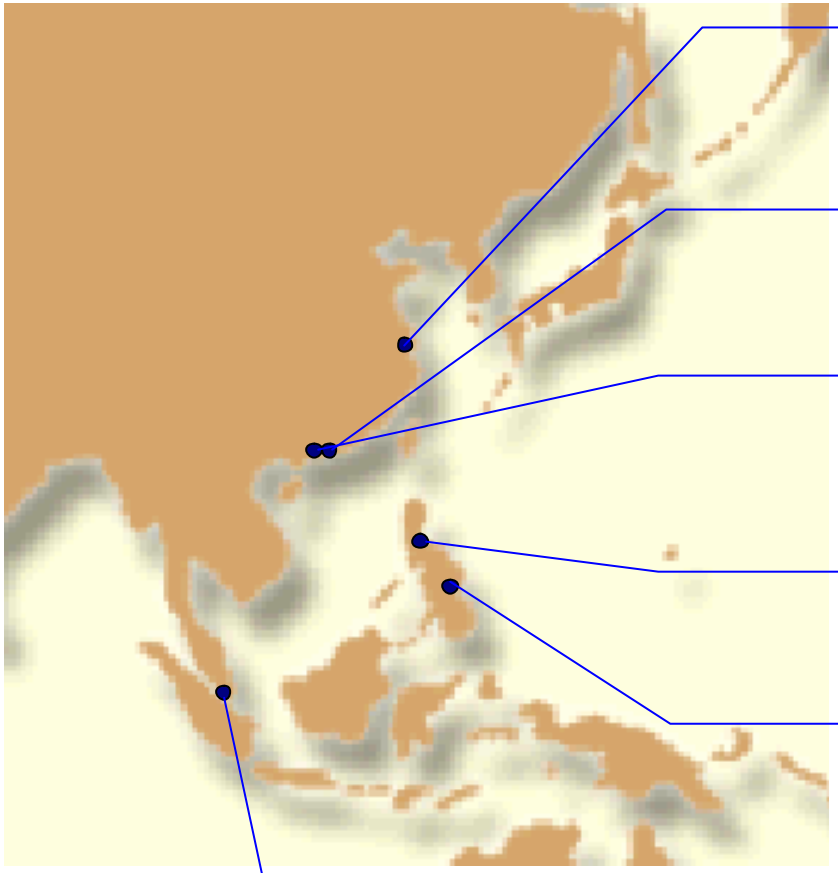
塩山工場
山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111　FAX.0553-32-1159

下田工場
静岡県下田市加増野字大古隅12-1
TEL.0558-28-1550 FAX.0558-28-1552

大阪営業所
大阪府大阪市西区北堀江2-2-7　北堀江ｹﾞｲﾄﾋﾞﾙ3F
TEL.06-6535-1310　FAX.06-6535-1315

■海外拠点

ENOMOTO Co.,Ltd.



ENOMOTO WUXI Co.,Ltd.
江蘇省無錫市無錫国家高新技術産業開発区96号-C
TEL.+86-510-5345222 FAX.+86-510-5344008

ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd
香港九龍梳士巴利道3号星光行1820室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.
広東省中山市火炬開発区逸仙工業区
TEL.+86-760-533-5111 FAX.+86-760-533-5113

ENOMOTO PHILPPINE MANUFACTURING Inc.
PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philppine.
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING INC.
CEBU OPERATIONS
Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington Road, Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines 6015
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

ENOMOTO PRECISION ENGINEERING(S)Pte.Ltd.
30Loyang Drive,Singapore 508945
TEL.+65-6542-4542 FAX.+65-6542-2484

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。